出エジプト記の結晶の学び 第 8 週 戦士としてのエホバの栄光なる勝利と、アマレク人との絶え間のない戦い

鳥瞰	三つの聖書の箇所が戦いを描写しています。出エジプト記第 15 章 1 節から 18 節は賛美の歌です。それは戦士としてのエホバの栄光なる勝利に関してであり、神の救いと神の勝利を賛美し、神の住まいと神の王国に至ります。出エジプト記第 17 章 8 節から 16 節には一つの絵があり、それはアマレク人との絶え間のない戦いを見せています。アマレク人は、肉を表徴しており、わたしたちが主と共に前進することを阻む主要な敵です。サウルが王職を失ったのは、彼がアマレク人を徹底的に対処しなかったからです。出エジプト記第 17 章 9 節から 13 節における絵は、どのようにアマレク人に対して戦うかをわたしたちに見せています。わたしたちは、とりなすキリストによって、また戦う霊によって、アマレク人に対して戦います。	
	真理要点	経験適用
1日	1. モーセとイスラエルの民が紅海を渡った後、直ちに主に向かって歌いましたが、その歌の内容はどのようなものでしたか？ 2. 出エジプト記第 15 章 14 節の「もろもろの民」とは誰を指していますか？	1. 出エジプト記第 15 章で、イスラエルの子たちは紅海の岸でこの歌を歌いました。第 15 章 1 節から 12 節で、イスラエルの子たちは神の救いと勝利を賛美しました。13 節は、神の住まいについて語っています。14 節から 15 節はイスラエルの子たちが神の敵を打ち破り、良き地を取得するという予言です。18 節はエホバが王として永遠に至ります。神の救いの目的は住まいの建造であり、彼の王国を建造することです。 2. もろもろの民は、未信者、異教徒を表徴しています。エジプトと良き地の間に住んでいたペリシテ人は、宗教の世界の人々を表徴しています。エサウの子孫であるエドム人は、天然の人を表徴しています。ロトの子孫であるモアブ人は、肉的な人を表徴します。カナン人は、天上にいるあの悪の勢力と関係があります。すべての敵の意図は、神の民が神の目標に到達するのを阻むことでした。すなわち、神の住まいを建造して神の定められた御旨を完成することに到達するのを阻むことでした。
2日	1. 神の救いの目標が、彼の住まいの建造をもって王国を建造することであるとはどういうことですか？ 2. 神の敵は宮の建造の阻止を企てますが、わたしたちはどのようにすべきですか？	1. 出エジプト記第 15 章 18 節は、王国を指しています。モーセは良き地へと入りませんでしたし、まして宮の建造を見ませんでしたが、主の聖なる所、主の住まいのためになおも主を賛美することができました。幕屋はシナイ山の近くに建てられました。数世紀の後、宮はシオン山の上に建造されました。幕屋が設立される前、神は地上に住まいを持っておられませんでした。 2. すべての攻撃、反対、悪口の目的は、神の住まいを建造して神の定められた御旨を完成するのを妨げることです。神の定められた御旨は建造です。神の観点からすれば、建造を獲得する神の定められた御旨はすでに成し遂げられています。わたしたちは新しい回心者をバプテスマするとき、彼らにバプテスマは彼らを神の住まいに、神の嗣業の山に連れて行くように意図されており、そこに神の民が植えられることを告げなければなりません。
3日	1. わたしたちの肉にはどのような特徴がありますか？ 2. 肉は変えたり、改善したりすることはできないので、わたしたちはどのようにすべきですか？	1. アマレクという名は、「好戦的な」を意味します。肉は戦いを享受し、決して平和を保ちたくありません。さらに、肉はとても破壊的です。クリスチャン生活の最大の破壊者は肉です。肉は極端に人を妨げます。パウロはとても妨げられて叫び出したほどです、「何とわたしは苦悩している者でしょう！　だれがこの死の体から、わたしを救い出してくれるのでしょうか？」。一見してこの妨げは罪によってひき起こされました。実は、それは肉によってひき起こされたのです。 2. 肉は古い人を生かし出し、表現することです。すなわち、肉はわたしたちの古い人の経験です。クリスチャンになって何十年であるとしても、肉は、影響されたり、変えたり、改善したりすることはできません。もしあなたの祈りがやむと、あなたの肉は今日も、あなたが救われる前と同じでしょう。肉が変化も改善もしないので、わたしたちは絶え間なく祈る必要があるのです。
4日	1. 神が深く肉を憎む最大の理由は何でしょうか？ 2. サムエル上 15 章でサウロはどのようにして王職を失いましたか？	1. サタンが肉の中に住んでいるからです。肉は神の敵の総本部であり、神の敵の働きの最大の基地です。わたしたちは、人の中でのサタンのすべての働きが、肉を手段として成し遂げられると言うことができます。肉を手段とすることを通して成されるサタンのすべての働きは、神のご計画と目標を破壊します。ですから、わたしたちは、神はサタンを憎むのと同じように、肉を憎み、そして神はサタンを滅ぼすことを欲しているのと同じように、肉を滅ぼすことを欲していると言うことができます。 2. サウルは正当に油塗られて王となりましたが、アマレク人を対処した方法のゆえに王職を失いました。このことからわたしたちは、肉を対処することで注意深くあることを学ぶべきです。わたしたちは、自分の王職を失うような方法でそれを対処するかもしれません。サウルはアマレク人を滅ぼしましたが、絶対的にはそうしなかったのです。サウルは最上の羊と、「滅ぼされるべき最上のもの」を惜しんだのです。これは、経験的に、わたしたちが例えば、自分の天然の命、天然の美徳の良い面を尊び、それらを滅ぼすことを願わないという事実を描写しています。
5日	1. アマレク人が対処されるとき、王国と王職が直ちにやってくることを説明してください？ 2. わたしたちはどのようにしてアマレク人と戦いますか？	1. 肉は恵みと敵対するだけでなく、王職とも敵対します。こういうわけで、肉が徹底的に対処されなければなりません。こうしてはじめて、神の王国はやって来ることができます。肉がある所に、神の王国はあり得ません。神の王国は神の権威を示しており、その権威によって万物は神に服従します。しかし肉は神に服従することができません。肉は神の御座に徹底的に反対します。わたしたちは過去を調べるなら、何と多くの時、肉を徹底的に滅ぼすことに失敗したかを見るでしょう。 2. アマレク人がイスラエルによって打ち破られたのは、マナと生ける水の供給を通して、モーセの手を挙げることとヨシュアの戦いによってです。同じように、わたしたちが肉に対して勝利を得るのは、わたしたちの命の供給としてのキリストを食べ飲みすることによって、とりなすキリストと共に祈り、戦う霊としてのキリストと共に肉を死に渡すことによってです。
6日	1. わたしたちは肉に対しての徹底した認識をもつ必要がありますが、霊的な人でさえ、肉によって当惑させられることがあることを語ってください。 2. わたしたちは、主によってさらに強く召されて、肉を対処する必要があることを説明してください。	1. 確かにパウロは円熟した兄弟でしたが、コリント人への第二の手紙第 12 章によれば、神は「肉体に一つのとげ」が彼に与えられるようにしました。ここでわたしたちは、そのように円熟した霊的な人でさえ、依然として肉に悩まされる可能性があることを見ます。これは、わたしたちが地上で生きている限り、肉を持ち続けるということです。肉がなおもわたしたちと共にあるので、わたしたちは毎日、目を覚まして祈ることによって、肉を対処する必要があります。もし目を覚ましていなければ、肉が行動するでしょう。 2. わたしたちは祈るとき、目を覚まして、霊の中で祈る必要があります。霊的な人にさえ依然として肉があり、それが打撃を与える可能性があります。昇天の中で生きているので、わたしたちにはもはや肉はないと思うべきではありません。違います。肉は依然としてここに残っています。わたしたちはさらに強く召されて、昇天の中にとどまるだけでなく、十字架の学課を学んで、幕の内側で生活する必要があるのです。
まとめ	アマレク人は肉を表徴し、わたしたちが主にしたがうことを妨害する最大の敵です。この名前の意味から、その特徴は、戦いを好み、クリスチャン生活を破壊し、人が主に従うことを妨げます。その他に、肉が王職と敵対することも認識しなければなりません。サウロはアマレク人を対処しきれなかったため王職を失いました。わたしたちがもし肉に対処しないのであれば、王職を失うことになります。どれだけ円熟し霊的であっても、体は変わらず、わたしたちは未だ肉を持っています。日々、十字架の学課を学び、十字架の肉の対処を更に強く経験し、幕を通して、幕の中での生活を送る必要があります。	